

2018年～2019年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションに
なろう

2018～19年度 国際ロータリー会長
バリー・ラシン 氏



「平成土浦百景：下坂田の石仏 写真 せき こう氏」

9月は基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間

2018～2019年度(第61期 沼田年度)

9月第1例会プログラム

9月6日(第2951回)

VOL. 7

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 会長挨拶
- 幹事報告・委員会報告
- 臨時総会
- 会 食
- 誕生祝・結婚記念祝・入会記念祝
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

会 長

奉仕の理想

親睦活動委員会

第60期決算・第61期予算について

親睦活動委員会

S.A.A

出席委員会

会 長

ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI (国際ロータリー) 承認 日本国内247番

創 立 1958年2月14日(昭和33年)

承 認 1958年3月 7日(昭和33年)

事務局:土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F) TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場: L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社

会長 沼田 義雄 幹事 佐藤ばうろ

第2820地区 研究会報告

ロータリー財団研究会報告

高木 博昭 ロータリー財団委員長

7月14日(出)筑西市ダイヤモンドホールで開催されました。

・「寄付金及びシェアシステムについて」

ロータリー活動を継続していくうえで、ロータリー財団への寄付が大きな力・資金として、様々な奉仕プロジェクトに活かされています。地区補助金と海外でのグローバル補助金は地元及び国際社会に大きく貢献しています。

年次寄付130ドル、ポリオ寄付20ドル、合計150ドル、恒久基金（ベネファクター 1,000ドル）ポール・ハリス・ソサエティ 1名以上が目標です。

土浦RCは、大槻利夫会員、廣瀬昭雄会員、坂本史郎会員がポール・ハリス・ソサエティです。



・「ポリオ プラス」

2016-17年度財団の支出内訳として、10,800万ドル、全支出の40%を占めています。最大の支出です。パキスタン1名、アフガニスタン7名の症例が報告されています。This close. あと少しです。

・「地区補助金」

81,882ドル、(8,843千円) が申請可能金額です。国内49クラブ、国外3クラブ年度プロジェクトの実施地です。

・「グローバル補助金」

大規模（3万ドル以上）な国際的プロジェクト。特別月間が設けられている6つの重点分野に関連した、持続可能な成果をもたらす人道的プロジェクト。奨学金、職業研修チームなどに使用できます。

・「ロータリー平和フェロシッププログラム」

ロータリー平和フェロシップは、平和と紛争解決の分野で国際的に活躍する人材を育成することを目的とした奨学会プログラムです。ピースメーカーの世界的なネットワークを築くものです。（日本に設置された平和センターはICU国際基督教大学）

職業奉仕研究会報告

佐藤ばうろ 幹事（職業奉仕委員長代理）

台風の迫る7月28日、水戸市の三の丸ホテルにて開催された奉仕プロジェクト研究会に、三輪谷職業奉仕委員長代理として参加しました。本年度は「奉仕プロジェクト研究会」という枠組みで、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の3分野合同での研究会でした。というのも、本年度より、地区の委員会編成も奉仕プロジェクト委員会の下に、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の各小委員会が設置されており、その理由として、これら3分野は相互に関連する性質が強く、縦割りではなく横の連携を取りやすくすることと、最近では小人数のクラブも増えており、運営面からも統合して合理化を図るといふこともあるようです。

午前、3委員会合同で、公共イメージや地区補助金、グローバル補助金についての説明や、グローバル補助金でコロンビア大学に留学した寺前さんの発表を聞きました。

午後は、3委員会がそれぞれ部屋を別にして、テーブルごとのディスカッションを行い、私は、職業奉仕委員会の部屋で、水戸地区の4クラブ、古河地区の2クラブ、土浦地区2クラブとつくば学園RCの9クラブ（9委員長）のテーブルに着きました。

ロータリーにおける「職業奉仕」とは、職場訪問や出前授業のような活動も挙げられますが、一義的には、自身の職業について、高い倫理基準と高潔さを追求し、その職業活動・経済活動を通じて世の中に貢献するというもので、他の分野の奉仕と異なり、活動の裾野が狭い（広げづらい）ようです。であるからこそ、クラブ内での横の連携も有効であり、一例として、水戸RCでは職業奉仕と社会奉仕が連携し、特別支援学校の就職支援や、就職に必要なツール（タブレット等）の寄付を行っているそうです。また、会員の職種や会社の情報をクラブを超えて（例えば分区や地区内で）共有することにより、自クラブにいない職種の他クラブ会員に卓話をお願いしたり、他クラブ会員の会社やコネを利用した職場訪問等、活動の幅を広げるアイデアが出され、大変勉強になる一日でした。

以上、職業奉仕研究会の報告とさせていただきます。



青少年奉仕研究会報告

臼田 恭士 青少年奉仕副委員長

7月15日(日)に水戸三の丸ホテルにて、青少年奉仕研究会が開催されました。まず高橋ガバナーから「ロータリーファミリーを広めよう」という題で講演を拝聴してきました。今年度の青少年の地区方針としまして、①ロータリーファミリーの構築 ②地区戦略計画による青少年育成 ③ロータリーデーの開催 ④青少年学友会の設立を掲げられておりました。また2820地区の青少年奉仕のレベルが全国最低レベルであり、ローターアクトやインターアクトの数が少ない状況にあるとの報告がありました。「これからは若い人たちと一緒に奉仕活動をしなければならない」→「共に活動することにより効果が絶大になり、それに伴いロータリーのイメージが向上し青少年の育成につながる」と仰っておりました。それを実践するために「若い人たちと一緒に奉仕活動する」すなわちロータリーデーの開催を必ずしてほしいとのことでした。



そしてインターアクターやローターアクターがその期間を終えるとロータリーから離れてしまう状況を打破するべく、「ROTEX」という青少年学友会を昨年結成し、青少年交換留学を終了した派遣生が今後の青少年交換派遣となる後輩を指導していく活動を始めたとの報告があり、様々なところでPRしていくとのことでした。

その後、4つの委員会から今年度の事業計画の説明あり、まずインターアクト委員会では12～18歳を対象に高等学校をベースに活動しているインターアクトクラブが地区では5クラブしかなく、各クラブで地元の高等学校と連携できないか検討してほしいとのことでした。

ローターアクト委員会からも地区で9クラブしかない現状であり、古河地区で3クラブ、第1分区の7クラブでの共同提唱にて設立をしているので、現在ローターアクトクラブがない第2、7、8分区では共同提唱での設立を検討してほしいとのことでした。

青少年及びバライア委員会では今年度のRYRA事業へ会員のご家族や従業員の参加のお願いがあり、各クラブの会長、幹事、青少年委員会もオブザーバーとして参加してほしいとのことでした。

最後に青少年交換委員会からは、今年度の8日間の短期交換留学生、約1年間の長期交換留学生の募集についてのご案内と実際に長期交換留学生として派遣された学生2名の報告会がありました。

以上、青少年奉仕研究会の報告とさせていただきます。

土浦RAC 幹事報告

土浦RAC 幹事 藤井正之

平成30年8月4日(土)・5日(日) 於：土浦モール505小野酒店前

テーマ：「土浦キララまつり 2018」

内容：モール505にてじゃがバターを販売して、屋台出店のノウハウを学び、地域の人と関わった。

成功点：当日、来る事が出来なかった、メンバー含めて、皆の協力があった。

反省点：お店のクオリティーがまだまだだった、お客さんを待たせてしまった。

総評：〔土浦RC 副SAA 小野 信直〕

暑い中お疲れさまでした。売り上げの一部を西日本の震災の義援金に回すと聞いて奉仕団体として活動を感じました。しかし、お店のクオリティーなどもっとミーティングをして良いものにしていけばお客さんも利益も増えると思います。



土浦市障害児(者)育成会

8/23 30,000円 累計30,000円

本会計より不足分20,000円を拠出し50,000円を寄付いたします。

ご協力ありがとうございました。



新会員入会式

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
58名	20名	38名	3名	69.09%

例会予告

- 9月13日 卓話「ロータリーの友」紹介
竹中公共イメージ委員長
- 20日 クラブ協議会(2)、クラブ奉仕研究会報告、
社会奉仕研究会報告、国際奉仕研究会報告、
米山カウンセラー報告

9月のロータリーレートは1ドル=112円です。